



## エコ・ファーストの約束

### ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2026年1月14日

環境大臣 石原 宏高殿

明治安田生命保険相互会社  
取締役 代表執行役社長 グループCEO  
永島 英器

明治安田は、「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、人々が安心して暮らせる地球環境を永続的に保全することが人類共通の重要課題であると認識しています。このような認識のもと、気候変動対策に取り組み、自然との共生を大切にする会社として、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 1. 事業活動を通じて、気候変動対策を積極的に推進します。

明治安田は、自社の事業活動に伴う温室効果ガス排出量 (Scope1+2) を、2030年度に2013年度実績対比67%以上削減し2050年までに実質ゼロ、Scope3を2030年度に2013年度実績対比40%以上削減し2050年までに実質ゼロにする目標を設定、公表しています。保有不動産において使用する電力の再生可能エネルギー化等を積極的に推進してまいります。

また、機関投資家として投融資ポートフォリオの排出量を2030年度に2013年度実績対比50%以上削減する目標を設定、公表しています。法人のお客さまからの多様なESGファイナンスへのニーズにお応えし、ESGに資する取組みを後押しするため、独自のESG融資フレームワーク「明治安田サステイナブルファイナンス」を開拓しています。今後も、企業の課題解決を後押しする対話を継続し、SDGs達成に資する投融資を推進してまいります。

なお、このような取組みが評価され、CDP気候変動質問書において、2023年・2024年の2年連続でAリストに選定されました。また、2024年に、Insurance ERM誌が主催するアジア太平洋地域における保険のリスクマネジメントの表彰制度である「Insurance ERM Asia Pacific Awards 2024」において、気候変動への取組みが特に優れた1社として「Climate Risk Initiative of the Year」に選定されるなど、国際的に高い評価を得ています。引き続き、気候変動対策と情報開示の高度化を推進してまいります。

## **2. Jリーグと協働した森林保全活動を通じて気候変動対策と自然再興を推進します。**

明治安田は、「Jリーグ気候アクションパートナー」契約を締結し、「明治安田×Jリーグの森～未来をつむぐ森～」として、Jリーグとの協働で森林を再生・保全する取組みを行なっています。森林環境の改善には長い時間を要するため、各地域の支社およびJリーグのスタッフや地域のお客様、自治体の方々など、多くのステークホルダーが長期にわたって参加できる取組みを展開してまいります。

## **3. 自社の環境負荷低減・環境啓発活動に取組みます。**

明治安田は、「循環型社会形成に関する国民の意識・行動」の指標である「廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識（2030年度90%）」、「具体的な3R行動の実施率（2030年度50%）」の実現に向けた取組みとして、自社の事業活動におけるプラスチック製品の使用を抑制するとともに、環境配慮型什器の導入などのプラスチック再資源化に寄与する取組みを推進します。

グループ環境方針に、自社の省資源・省エネルギー、資源のリサイクルの取組みについて定め、オフィスでの分別回収や再資源化を推進するとともに、従業員の環境保全に関する意識向上を図り、一人ひとりの取組みを推進します。

明治安田は、上記取組みの進捗状況について、環境省へ報告するとともに、統合報告書やサステイナビリティレポート、ホームページ等で定期的に公表します。

